

国名(日本語)	<b>レバノン共和国</b>
国名(英語)	<b>Republic of Lebanon</b>



国名の由来	レバノン山脈の名に由来。山脈の古名は、ラテン語で「リバヌス山脈」、ギリシャ語で「リバノス山脈」、アラビア語で「リブナン山脈」で、共通するのは「白い」という意味。
国旗の由来	中央に描かれたレバノン杉は、神聖さと永遠のシンボル。白は「レバノン山脈＝白い山脈」を表し、清浄さや平和を象徴している。赤は植民地からの解放のために流された血と犠牲を象徴している。
1 面積	10,452平方キロメートル(岐阜県程度)
2 人口	約464.8万人(2015年 世界銀行)
3 首都	ベイルート
4 言語	アラビア語(仏語及び英語が通用)
5 宗教	キリスト教(マロン派、ギリシャ正教、ギリシャ・カトリック、ローマ・カトリック、アルメニア正教)、イスラム教(シーア派、スンニ派、ドルーズ派)等18宗派
6 豆知識	レバノンの代表的な樹木であるレバノン杉は耐久性に優れるうえに防虫、防腐効果が高いことから貴重な輸出品であった。現在は乱伐と近親交配、虫害で滅亡寸前となり、日本の協力で回復が図られている。